

**美馬市生涯活躍のまち推進会議  
令和元年度第1回会議**

日 時 令和元年12月3日(火)  
午後1時から  
場 所 美馬市役所  
北館101・102会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

(1) 美馬市生涯活躍のまち関係事業の取組について(報告)

(2) 美馬市生涯活躍のまち事業計画(案)について

4 そ の 他

5 閉 会

美馬市生涯活躍のまち推進会議委員名簿

氏 名	所 属 等	備考
中 岡 泰 子	四国大学生生活科学部生活科学科 教授	委 員 長
原 田 治 喜	徳島県西部総合県民局地域創生部 部長	
松 浦 正 治	徳島県保健福祉部長寿いきがい課 いきがい・活躍推進室 係長	
谷 口 博 美	一般社団法人美馬市医師会 会長	
大 垣 賢 次 郎	社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 会長	
徳 山 直 人	四国大学SUDAc h i 推進室地域連携コーディネーター(西部地区スーパーサテライトオフィス)	
北 岡 武 義	徳島県シルバー大学校美馬校OB会連合会 顧問	
古 川 省 三	特定非営利活動法人うだつコミュニティースポーツクラブ 会長	
谷 口 隆	株式会社阿波銀行脇町支店 支店長	代理出席： 佐藤朋行次長
信 田 尚 史	株式会社徳島銀行脇町支店 支店長	代理出席：西岡 義典支店長代理
藤 本 実	公益社団法人徳島県建築士会美馬地域会 副会長	
佐 藤 賛 治	野村東自治会 会長	副委員長
中 妻 淳 一	小星自治会 会長	
中 野 耕 次 郎	小星廻りおどり保存会 会長 (小星自治会から推薦を受けた者)	
上 田 薫	社会福祉法人徳島県身体障害者連合会 障害者支援施設 小星園 園長	
山 下 薫 子	社会福祉法人徳島県手をつなぐ育成会 障害者支援施設 ルキーナ・うだつ 施設長	代理出席： 川原勇人主事

## 議題（１）美馬市生涯活躍のまち関係事業の取組について（報告）

### （１）これまでの事業経過について

#### 【平成30年度】

- ・ 2月8日 小星地区説明会開催。

#### 【事業計画の概要】

##### （１）移住促進拠点での事業展開

- ①移住者用住宅の整備・運営
  - ・ 事業者が移住者用住宅を段階的に整備・運営
- ②移住おためし住宅の整備・運営
  - ・ 市が整備し、管理運営を事業者へ委託
- ③地域交流施設の整備・運営
  - ・ 市が地域交流施設を整備し、施設管理と事業展開を事業者が担う
  - ・ 「美馬市生涯活躍大学連携センター（仮称）」を併設し、四国大学との連携による生涯学習講座「みま学講座（仮称）」を開講
  - ・ アクティブライフ・サポートセンターを併設し、アクティブライフ・コーディネーターによる移住者や市民を対象に、健康づくり・介護予防の取組や地域交流活動を推進

- ・ 3月22日 事業者と連携協定を締結。

#### 【令和元年度】

- ・ 4月以降 事業者との協議を7月末まで断続的に実施。
- ・ 6月28日 市議会6月定例会で徳島県からの事業用地取得を議決。
- ・ 7月30日 事業者から「辞退」の申し出。
- ・ 8月7日 連携協定の辞退届を事業者より受理。連携協定を解消。
- ・ 8月19日 市議会全員協議会にて連携協定解消を報告。
- ・ 8月19日 小星地区説明会を開催。
- ・ 8月29日 内閣府まち・ひと・しごと創生本部事務局へ現状報告。  
連携協定解消と地方創生推進交付金事業の取下げについて報告。
- ・ 10月11日 事業運営候補者の再公募を開始（募集期間：～10月28日まで）。
- ・ 11月5日 事業運営候補者審査委員会を開催。  
書類審査及び応募者のヒアリング審査を実施（応募件数：1件）。  
審査の結果、採択基準点数を下回っていたため不採択。

## (2) アクティブライフ・コーディネーターの活動・養成について

### (事業概要)

美馬市への移住者に対する移住後の相談、交流、いきがい活動、就労支援、健康づくり支援、介護予防など各種サービス・支援につなぐ役割を担う「アクティブライフ・コーディネーター」の活動及び養成を美馬市社会福祉協議会への委託により実施。

移住フェア・相談会における移住検討者への相談・助言、移住交流促進拠点地域及び周辺地域と移住者との関係づくりや地域住民への支援・ヒアリング等を実施。

### 【平成30年度】

- ・ 4月1日 美馬市社会福祉協議会と業務委託契約締結

### 【アクティブライフ・コーディネーター養成に係る研修参加】

- ・ 8月25日 地域プロデューサー養成講座（1名参加：東京都）  
～26日
- ・ 9月1日 地域プロデューサー養成講座（1名参加：東京都）
- ・ 11月10日 コミュニティに強いソーシャルワーカー養成研修（1名参加：東京都）  
～11日

### 【都市圏で開催された移住フェア・相談会における相談・助言活動】

- ・ 7月28日 おいでや！いなか暮らしフェア（大阪市）参加
- ・ 9月9日 ふるさと回帰フェア2018（東京都）参加
- ・ 10月14日 ひとり親地方移住合同相談会（東京都）参加

### 【地域における活動】 別添資料1参照

- ・ 5月2日 「野村地区での暮らしを考える」意見交換会（20名参加）
- ・ 5月17日 井口自治会小地域生活支援ネットワーク活動（20名参加）
- ・ 6月18日 「小星いきいきサロン」意見交換会（37名参加）
- ・ 7月4日 野村地区（野村東自治会・野村自治会）での小地域生活支援ネットワーク活動立ち上げに向けての話し合い（7名参加）
- ・ 7月10日 野村地区（野村東自治会・野村自治会）での小地域生活支援ネットワーク活動立ち上げ
- ・ 8月24日 「野村地区（野村東自治会・野村自治会）生活支援ネットワーク会議」の開催（10名参加）・地域の高齢者についての情報共有等など
- ・ 9月5日 「小星いきいきサロン」意見交換会（37名参加）
- ・ 9月26日 「野村いきいきサロン」意見交換会（10名参加）
- ・ 12月3日 「小星いきいきサロン」意見交換会（35名参加）
- ・ 2月6日 「小星いきいきサロン」意見交換会（39名参加）※藤田市長参加
- ・ 2月17日 「木ノ内いきいきサロン」意見交換会（30名参加）
- ・ 2月18日 小星園、ルキーナ・うだつ共催の「オレンジカフェ」に地域住民と参加
- ・ 3月6日 小星支え合いマップの見直し（35名参加）

**【令和元年度】**

- ・ 4月1日 美馬市社会福祉協議会と業務委託契約締結

**【アクティブライフ・コーディネーター養成に係る研修参加】**

- ・ 9月14日 地域プロデューサー養成講座（1名参加：東京都・栃木県）  
～16日

**【都市圏で開催された移住フェア・相談会における相談・助言活動】**

- ・ 9月7日 ふるさと回帰フェア2019（東京都）参加

**【地域における活動】**

- ・ 4月22日 「小星いきいきサロン」意見交換会（45名参加）
- ・ 5月10日 野村地区小地域生活支援ネットワーク活動協議（8名参加）
- ・ 7月8日 地域リーダー研修会（地域から25名参加）
- ・ 7月11日 「小星いきいきサロン」意見交換会（40名参加）
- ・ 7月27日 小星地区行事「胡瓜撫せ・胡瓜加持」参加（50名参加）
- ・ 8月17日 小星地区行事「小星廻り踊り」参加（約300名参加）
- ・ 9月4日 「小星いきいきサロン」意見交換会（43名参加）
- ・ 9月6日 「井口いきいきサロン」いきいき百歳体操・意見交換会（12名参加）
- ・ 9月14日 地域施設と住民の交流イベント「星っしーな祭り」参加
- ・ 9月30日 「野村いきいきサロン」意見交換会（12名参加）

### (3) 生涯活躍講座「美来創生みま学講座」の開講について

#### (事業概要)

美馬市と包括的連携協定を締結している四国大学との連携により、「大学連携いきがい支援プログラム開発等事業」として実施。

美馬市民だけでなく移住を検討している方をはじめとする市外在住者にも、美馬市での暮らしや自然・歴史・文化等について学びを深め、美馬市の魅力を再発見していただくことで、美馬市にもっと触れてみたい、住みたい、訪れてみたい想いを持っていただくとともに、誰もが健康で生涯活躍できる暮らしを実現してもらうことを目的とする。

令和元年度の開講に向け、同大学の教職員・学生を中心に各種調査・研究を実施。

・実施概要について ⇒ 別添**資料2**参照

・令和元年10月開講 ⇒名称：「美来創生みま学講座」

13講座

主会場：地域交流センターミライズ

サテライト配信会場：四国大学古川キャンパス

別添**美来創生みま学講座パンフレット**参照

## 議題（２） 美馬市生涯活躍のまち事業計画（案）について

### （１）今後の事業方針について

本年６月、国は「まち・ひと・しごと創生基本方針２０１９」において、これまで中高年齢者の移住に重点を置いた「生涯活躍のまち」に加える形で誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合うコミュニティ「全世代・全員活躍まちづくり」という新たな視点を示しています。

本市としましては、引き続き、「美馬市生涯活躍のまちモデル事業プラン」に基づきながらも、国の新たな考え方を積極的に取り込み、事業の実現をめざすこととします。

そのためには、本年度中に「美馬市生涯活躍のまちモデル事業プラン」の改訂に取り組むとともに、引き続き、令和２年度の早い段階で事業運営法人の再公募・選定などに取り組みます。そして、「健康づくり・介護予防の取組」や生涯活躍講座『美来創生みま学講座』など、美馬市社会福祉協議会や四国大学との連携による事業を、引き続き推進します。

### （２）移住交流促進拠点の整備

従来の「移住」に加え、若者を中心とした多世代へ「起業支援」も含めた「チャレンジハウス（仮称）」などの環境を、ニーズに応じた段階的な整備と、健康事業や座学などの地域交流活動を目的とした、「地域共生交流センター（仮称）」の整備を進めます。

その他、公募等により選定された運営法人による「地域活性化・交流事業」に必要な施設や、継続的な事業運営に必要とされる独自事業の施設などを想定します。

### （３）市において整備を計画している施設

市においては、令和元年度から既存施設等の解体・造成工事等（外溝含む）のほか、「地域共生交流センター（仮称）」の整備を計画します。

現在、先行して取り組んでいるアクティブライフ・コーディネーター（市社協）による「健康事業」や四国大学による「美来創生みま学講座」など、地域活性化・交流事業を計画します。

また、事業運営法人の提案事業において「チャレンジハウス（仮称）」や「地域共生交流センター（仮称）」の機能が含まれる場合は、事業運営法人による整備を基本とし検討を進めます。

- ・ 移住交流促進拠点整備事業計画（案）：別添資料3参照